

防災週間の防災展示について

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。

これにあわせて、8月31日（月）から9月4日（金）までの間、福山市役所本庁舎1階で防災展示を行っています。

この機会に防災グッズの準備や点検を行い、ご家庭でも防災や防災グッズについて話し合いをするなどして、災害についての認識を高めましょう。

●日時：8月31日（月）～9月4日（金）
（8時30分～17時15分）

●場所：福山市役所 本庁舎 1階 市民ホール

※「防災の日」、「防災週間」について

1923年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないよう、1960年に9月1日が「防災の日」として制定されました。また「防災の日」を中心とした1週間は「防災週間」として、広く災害についての認識を深め、より一層防災意識の高揚を図ることを目的とされています。



保存用食料



缶詰・ビスケット・
フリーズドライ食品



レトルト食品・
アルファ化米



保存食セット



いまから備えよう！
**1週間分の
備蓄**

これまで家庭での備蓄は3日分といわれていましたが、甚大な被害が及ぶ南海トラフ地震に備え、現在では「**1週間以上**」の**家庭備蓄**が望ましいとされています。

1日に必要な
ストックの目安
(1人分)

水約2リットル



食料3食



最初の1～3日間

普段から多めに食材を買い置きしておけば、3日程度は冷蔵庫の中のものを食べてしのげます。冷凍庫に普段から冷凍食品を保存していくことも有効です。



次の3日間

普段から備蓄食品を定期的に食べ、食べた分を買い足すローリングストック法という備蓄方法があります。

避難用ロープ・救急箱



「避難用ロープ」

災害時に1階部分が使用不可となり、2階や3階からロープを垂らして避難するための器具です。



「救急箱」

災害でけがをしてしまった時のため、準備しておきましょう。

【内容】消毒薬・ばんそうこう・包帯・持病の薬など



災害用備蓄水・応急給水袋

「災害用備蓄水」

上下水道局では、災害時における飲料水確保のため「災害用備蓄水」を製造し、常時20,000本を備蓄しています。
この「災害用備蓄水」は、中津原浄水場で浄水した水を製造工場で塩素除去・加熱殺菌し、ボトル詰めしたものです。



「応急給水袋」

「応急給水袋」は6リットルまで水を入れることができ、運ぶ際には手でさげるほかに、付属のひもを使ってリュック式にもできるのでとても便利です。
万一の災害に備え、上下水道局では「応急給水袋」を備蓄しています。



マンホールトイレ



「マンホールトイレ」は、災害の長期化が引き起こすトイレの使用制限による市民生活への悪影響を軽減し、公衆衛生を守るための仮設トイレです。

現在は、福山市が指定する広域避難場所のうち「緑町公園」「駅家公園」「竹ヶ端運動公園」「中央公園」に設置できるよう整備済みです。

防災パンフレット・パネル展示



防災展示では、防災に関するパンフレットの配布や、平成30年7月豪雨災害など、過去に発生した災害のパネル展示を行っています。

「防災週間」を契機に、あらためて災害に備えることの重要性を考えていただき、非常持ち出し品の準備や避難場所の確認など、家族でできる対策をご家族みんなで確認してください。